



表紙：今月号の特集掲載関連にて作成。アコヤ貝写真は(株)御木本真珠島提供

# 化学と工業 12

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

Vol.60-12 December 2007

C O N T E N T S



クリスマスの物語

- 1145 **巻頭言** 研究の駆動力  
櫻井英樹
- 1149 **論説** 時代感覚を磨き、自らの道を進もう  
中村栄一
- 1151 **OVERVIEW** 第三のフラットパネルディスプレイ  
動き出した有機ELテレビ

## 特集

# 1156 まだまだ地方名産品の化学

本特集は、昨年、一昨年に続く「地方名産品の化学」の第3弾である。日本各地のさまざまな名産品について何らかの化学の言葉をまじえながらエッセー風を書いて頂いたものである。今回は北海道のイカ墨、東京の椿油、三重の真珠、香川の讃岐うどんを取り上げた。農産物、水産物中心の特集となったが、初冬の夜にコタツで暖を取りながら日本を賑わせる地方問題を化学の目で見直すのに良い題材と思う。地方の会員各位からのさらなるご要望を期待している。

- 1 イカ墨の高度産業利用  
——未利用生物資源からのファインケミカル創造  
上野孝
- 2 ツバキ油——受けつがれる自然の恵み  
鈴木敏江
- 3 真珠の素顔と美しさ  
和田浩爾
- 4 讃岐うどん—その美味しさ  
三木英三

- 1171 **私の自慢** 蛋白質内部空間を反応場として  
どこまで設計・利用できるか？  
——有機金属酵素の創成を目指して  
渡辺芳人



(上)高分子系有機EL材料(住友化学提供)と(下)フレキシブルテレビ試作品(ソニー提供)

